

津興橋を架け替えます

平成27年11月17日

二級河川岩田川河口より津興橋を望む

道路橋の現状

津市が管理する道路橋 **2,384橋** (H27.4.1現在)

うち、建設後50年経過する橋梁は **約420橋** (全体の約18%)

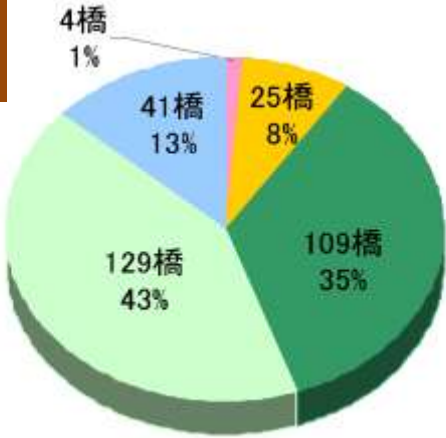
更に20年経過すると、約1,700橋(全体の約70%)に拡大

橋梁の高齢化が急速に進行

平成25年3月に橋長15m以上の橋梁308橋を対象に
津市橋梁長寿命化修繕計画を策定

津市橋梁長寿命化修繕計画対象橋の現状

健全度



橋長15m以上の橋梁308橋を点検した結果

	速やかに修繕を行う必要がある	4橋
	修繕を行う必要がある	25橋
	状況に応じて修繕を行う必要がある	109橋
	損傷はあるが、修繕を行う必要は無い	129橋
	損傷は認められない	41橋
		計308橋

重要度

グループ名	評価項目	橋梁数 (308橋)	重要度
A-1	■交差条件(第三者被害の抑止) ・跨線橋、跨道橋(高速道路・国県道) ■緊急輸送道路上の橋梁 ・三重県指定緊急輸送道路 ・地震時に通行を確保すべき道路	40橋	高 ↑ ↓ 低
A-2	■交差条件(第三者被害の抑止) ・跨道橋(高速道路・国県道 以外) ■通行不可に伴い孤立集落が発生する橋梁 ■高齢化橋梁(建設後50年以上経過した橋梁)	65橋	
B-1	■A-1、A-2以外の橋梁	182橋	
B-2	■修繕不可の橋梁	21橋	

橋梁長寿命化修繕の整備方針

「速やかに修繕を行う必要がある」4橋については、安全対策を実施済

「修繕を行う必要がある」橋梁25橋の中で、重要度(A-1)に含まれる
2橋(柊原川1号橋・津興橋)から順次修繕を進める

柊原川1号橋

修繕工法を決定

平成26年度に
修繕工事を完了

津興橋

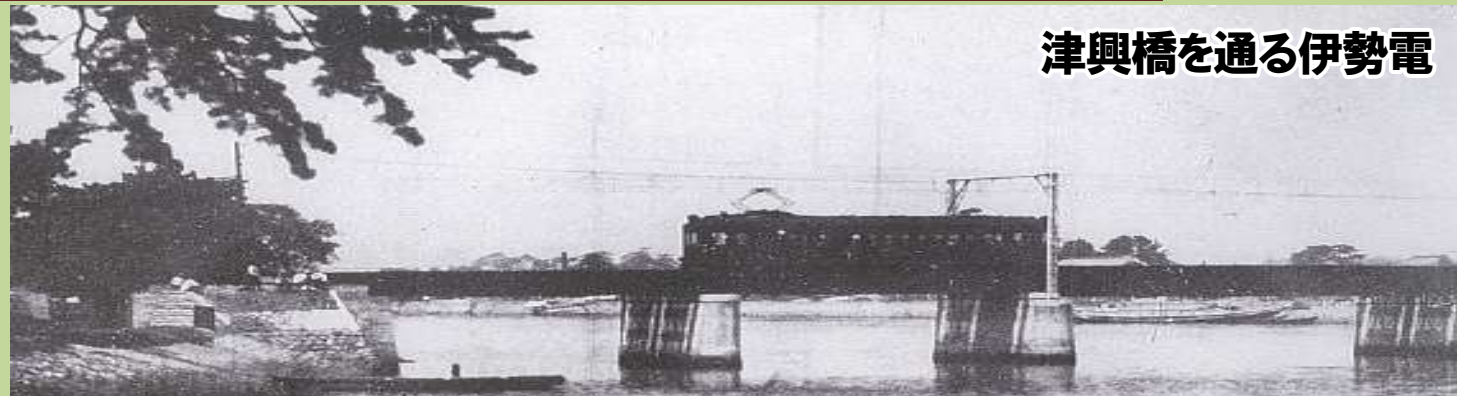


さらなる調査が必要と判断！

津興橋の歴史



昭和5年 伊勢電気鉄道の鉄道橋として築造



昭和36年 廃線(鉄道橋から道路橋へ)



市道塔世橋南郊線は、線路跡の大部分を利用しており、通称「近鉄道路」と呼ばれ重要な幹線道路として利用



津興橋の損傷調査

津興橋の修繕工法を検討するため、平成26年8月・平成27年8月の2回、**近接目視調査**を実施し、**橋全体の損傷状況を確認**



橋梁点検車による橋梁点検



近接目視により損傷状況を確認

通行の安全性を確認

損傷が著しい桁端部を対象に、総重量20トン相当とした
ダンプトラックを載荷し、**現有耐力調査を実施**(平成27年2月18日)



← 1車線1台ずつ載荷



← 桁下に貼り付けた
ひずみゲージにより
発生力を測定

結 果

直ちに車両規制を行う必要はない

通行の安全性を確保するため、定期点検により損傷の進行を確認

津興橋の整備について

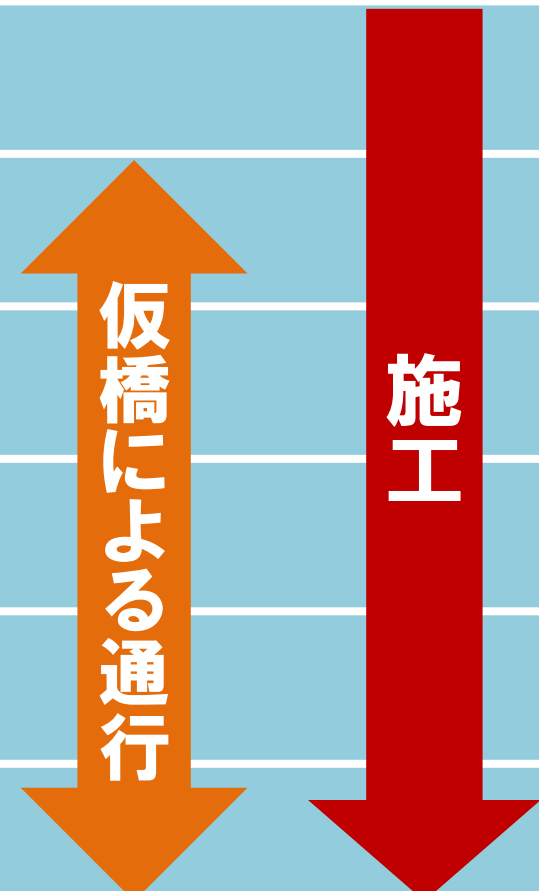
- 日当り交通量約16,000台／日の重要な橋梁
- **建設後85年が経過** ⇒ 老朽化による橋の損傷が顕著
- 耐震対策が必要



津興橋の架け替えの方針を決定し、設計費・調査費を
平成28年度当初予算案に計上

今後のスケジュール

年度	内容
平成28年度	橋梁設計・用地補償調査
平成29年度	用地買収
平成30年度	仮橋設置工事
平成31年度	旧橋撤去工事
平成32年度	下部工工事（橋脚）
平成33年度	下部工工事（橋台）
平成34年度	上部工架設工事
平成35年度	道路改良工事・仮橋撤去工事



仮橋による通行

施工

新町小学校大規模改造工事を実施 ～快適な教育環境の整備～



平成27年11月17日

これまでの大規模改造工事

小学校

白塚小学校、神戸小学校

改修年度 平成24～26年度

事業費 8.7億円(白塚小学校)
8.7億円(神戸小学校)



白塚小学校 校舎外観



普通教室



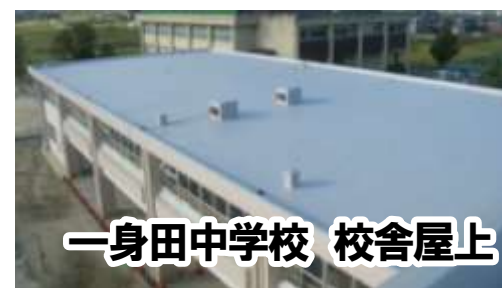
エレベーター、
多目的トイレ



昇降口



廊下



一身田中学校 校舎屋上



トイレ

中学校

一身田中学校

改修年度 平成24～26年度

事業費 8.7億円

一志中学校

改修年度 平成26～28年度

事業費 5.4億円(H26・H27)

新町小学校の現状

昭和44年に建築された校舎で、築後46年が経過し、
校舎・設備の老朽化が進んでいる



屋根及び外壁の
防水機能の低下
による雨漏りの
発生

外壁及び軒裏の
モルタルや仕上げ
材の剥離



トイレや水廻り
の劣化や悪臭の
発生

サッシや扉等の
劣化による開閉
不良 等



大規模改造工事の必要性

校舎・施設の老朽化に伴う教育環境の低下

全面的な施設改修により快適な教育環境を整備

- 屋根や外壁などの改修による建物の長寿命化
- トイレの洋式化などの生活環境の改善
- エレベーター・多目的トイレなどのバリアフリー化
- 内部改修や空調設備の設置による学習環境の改善
- 黒板や実習機の取り替えによる学習機能の充実
- 防犯・防災対策の向上による安全性の確保
- LED照明による省エネへの取り組み

新町小学校の大規模改造工事の考え方

**学校施設の
老朽化対策**



施設の有効活用

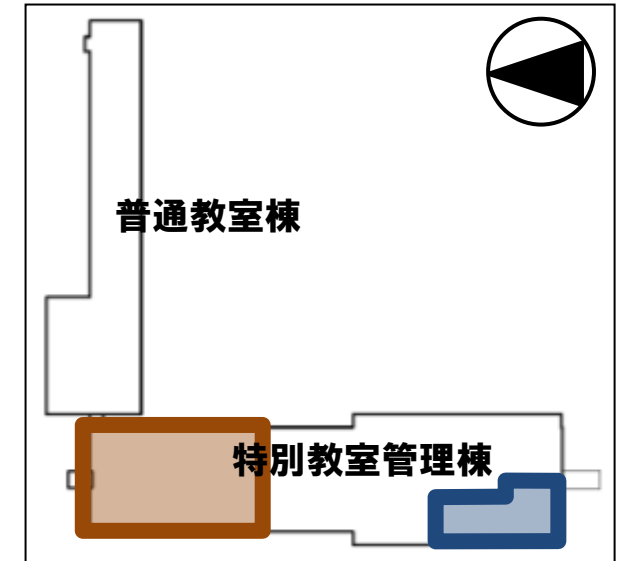
- **放課後児童クラブの配置**
- **地域活用エリアの整備**

第6回津市総合教育会議において協議（平成27年10月13日開催）

**放課後児童クラブや地域の活用を
踏まえた改修方針を決定！**

新町小学校の大規模改造工事に伴う施設の有効活用策①

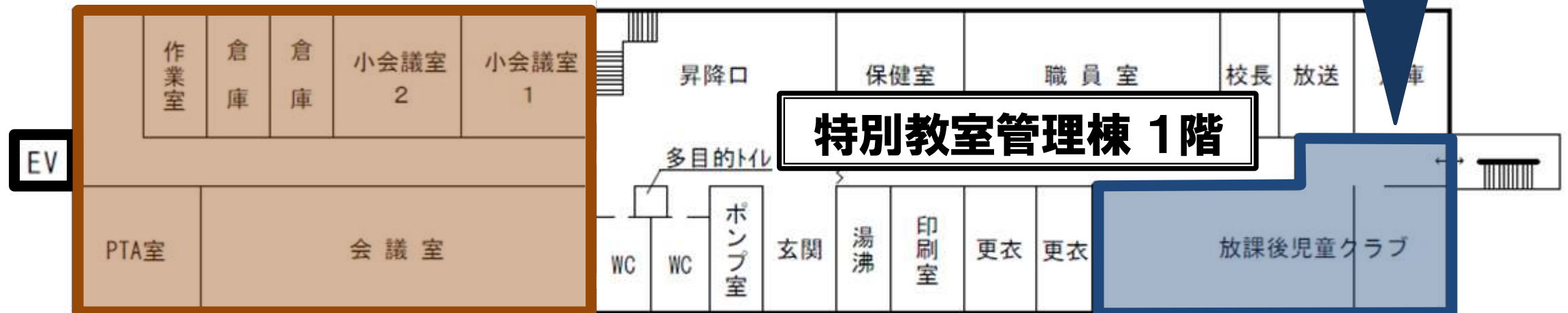
- 放課後児童クラブの配置
- 地域活用エリアの整備



地域活用エリアを整備

災害が小規模な場合、このエリアを避難所としても活用

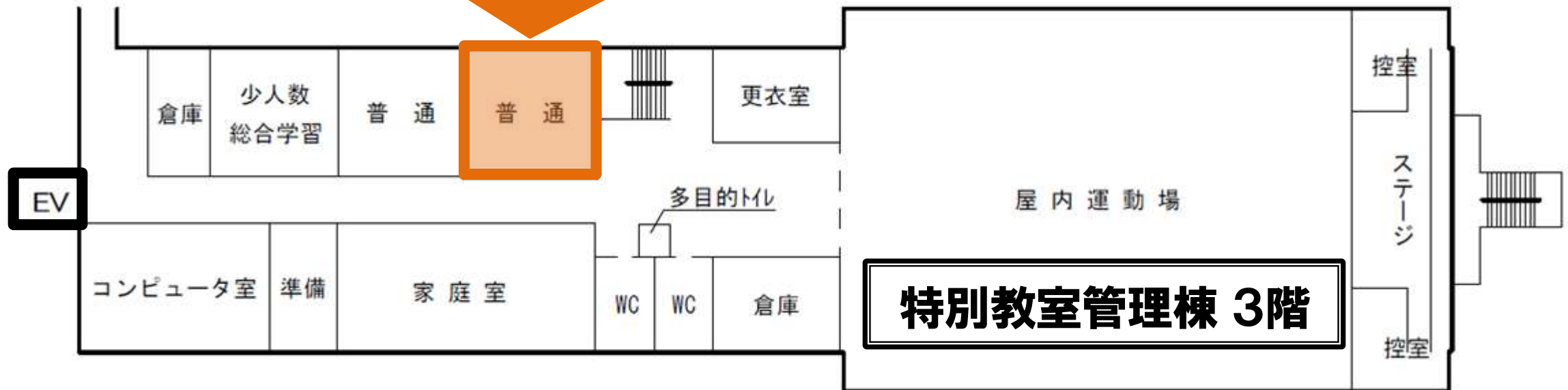
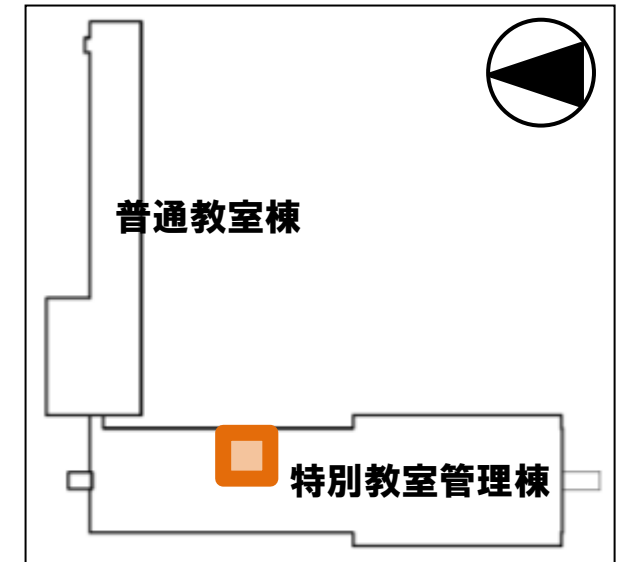
放課後児童クラブを配置



新町小学校の大規模改造工事に伴う施設の有効活用策②

避難者に配慮した設備の整備を
踏まえた施設の改修

災害時情報収集及び要配慮者
避難エリアとして活用



大規模改造成工事による利用形態の変化

建設当時から学校施設のみの利用

現在の児童数に合わせた利用計画により、
地域等が利用できるスペースを確保

工事前

用途	面積
学校専用	6,458m ²

工事後

用途	面積
学校専用	5,633m ²
学校及び地域併用	619m ²
放課後児童クラブ	206m ²

工事スケジュール・事業費

年度	内 容	
平成27年度	大規模改造工事に係る実施設計	設計
平成28年度	普通教室棟の外部工事、1階の内部工事	工事
平成29年度	普通教室棟の2・3階の内部工事	
平成30年度	特別教室管理棟の外部工事、1階の内部工事	
平成31年度	特別教室管理棟の2・3階の内部工事	

学校を運営しながらの工事となるため、4年間に分けて実施
(平成28年度～平成31年度予定)

総事業費	約8億円	学校施設環境改善交付金・合併特例債充当
------	------	---------------------